

文献情報							
表題・資料名							
傾斜ライシメータを使ったミカンおよび茶園の土壌流出と窒素分流出の測定							
部会	G2	文献ID	R2003	観測ID	S001	公表年	1996
著者名							
花野義雄, 石原暁, 井田明							
収録雑誌名							
日本土壌肥科学雑誌							
巻号	67(2)	ページ	194-197				
地目							
樹園地(茶)							
地目備考							
茶(さやまかおり、16本/区、1987年3月に2年生苗を植え付け)							
立地							
ライシメーター							
立地備考							
傾斜25度、斜面長3m、幅2m、深さ1.2m~2.4mの傾斜ライシメータ							
栽培方法							
慣行							
栽培方法備考							
精耕区(通年裸地状態、雑草を適宜除去)を慣行とみなした							
施肥量							
窒素	リン						
3548	>174.56kgP/ha(基肥のみ記載)						
施肥特記事項							
乾燥刈草100t/ha、完熟堆肥10t/haに含まれる養分量は不明、CDU100kg/haに含まれる窒素は31%として計算、過リン酸石灰2000kg/haに含まれる全リン酸は20%として計算							
それ以外	褐色森林土	中粗粒褐色森林土	SL				
土壌備考							
褐色森林土(雑木林)の下層土のみを充填(山崎ら1984四国農試報43:38-74より、土壌統群を特定、花崗岩の風化土、土性SL)							
栽培特記事項							
茶(精耕)、香川県の基準施肥量に準じて追肥							
全調査期間	1987-1993(7年)	計算対象期間開始年月日	1987/4/1	計算対象期間終了年月日	1994/3/31	調査頻度	多(週1回未満~月1回以上)
調査期間備考							
毎月末にドラム缶内の表面排水と土壌及び浸透水をサンプリング							
降雨時流出負荷の加味							
有							
降雨時流出負荷備考(具体的な回数など)							
月1回サンプリングだが、全量回収しているので、降雨流出を加味している							
代かき田植え時精密調査							
計算方法							
計算方法	降水		灌漑水				
排出負荷							
TN							
表面排水	暗渠排水	浸透水	Total				
129	0	1615.4	1744				
備考							
全窒素、アンモニア態窒素、硝酸態窒素を分析							
TP							
表面排水	暗渠排水	浸透水	Total				
0	0	0	0				
備考							
SS							
表面排水	暗渠排水	Total					
0	0	0					
備考							
有機物							
種類	表面排水	暗渠排水	浸透水	Total			
	0	0	0	0			
備考							
単位							
	量/面積	/期間					
kg/ha	年						
計算に用いた具体的日数							
7年	2557						
備考							
表面排水及び浸透水はいずれも全量貯留して毎月末に回収							

日本環境学会(2013) 非特定汚染源からの流出負荷量の推計手法に関する研究
注: データを引用するには必ず元文献をご確認ください。